

臨床研究に関するお知らせ

東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科では、病気で困っている患者さんの治療法を向上させるため、東京大学大学院医学系研究科とともに、下記の臨床研究を行いたいと考えています。研究を行うにあたっては、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。もしも下記の研究内容に該当すると思われた方で、ご自身の検査データなどが用いられることにご質問などのある方は、下記の連絡先にご連絡ください。

1. 研究課題名 「膵臓癌の進展におけるTGF- β シグナルの解析」

2. 研究の目的

これまでに、東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科では、膵臓癌の患者さんの診断、外科治療、内視鏡治療、術後フォローアップ、補助化学療法、再発腫瘍に対する集学的治療（化学療法、放射線治療等）を行ってまいりましたが、膵癌の発症のメカニズムを解明し、新たな診断法や治療法を開発することにも目を向けております。

これまでの世界中の研究から、膵臓癌の発症にはTGF- β とよばれるタンパク質の働きが重要であることが示唆されています。TGF- β の作用は多彩であり、膵臓の細胞にどのようにTGF- β が作用することで発癌に至っているのか、現段階では詳細なメカニズムはわかりませんが、膵臓癌細胞の特性を理解し、TGF- β の作用を明らかにすることは新たな治療法の確立を目指すうえで大変重要であると考えています。そこで本研究では、これら膵癌の患者さんの手術検体を用いて、膵臓癌におけるTGF- β の作用と、治療経過や長期予後、を後ろ向き研究として評価したいと思っています。

3. 方法

肝胆膵外科での手術によって摘出された膵臓癌組織におけるTGF- β や関連タンパク質の発現を免疫組織染色法を用いて評価します。同時に対応する患者さんの治療経過（治療成績、早期偶発症）および長期予後（患者生存率、無再発生存率、長期偶発症）について、日常診療で得られた情報（採血結果、画像検査）を外來カルテおよび入院カルテから収集し、後ろ向き解析を行います。

4. 研究の対象

1994年4月から2012年12月に、当院肝胆膵外科において、肝胆膵領域疾患の診断および治療のため診療を受けた患者さんの一部が対象となります。約20名の方が対象となります。

5. 被験者の実体験

本研究は、すでに摘出された手術検体に対する病理学的検査や、過去に行われた画像を用いた診断、手術記録、入院カルテや外来カルテの記録をもとに行われる後ろ向き解析であり、対象となった方に新たな検査や治療が本研究のために行われることはありません。

6. 研究が行われる機関または実施場所

東京大学大学院医学系研究科 病因病理学専攻 分子病理学分野で行われます。

7. 研究における倫理的配慮について

人権への配慮（プライバシーの保護）

本研究実施に係る原資料類および同意書などを取り扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮いたします。病院外に提出する報告書、学会発表、学術論文においては、被験者を特定できる情報を含めません。もしもこのホームページで公開した本研究内容をご覧になり、研究対象となることに同意されないと連絡された方は研究対象には含めません。被験者ご本人またはご家族の中で、本件にご質問のある方は下記にご連絡くださいますようお願いいたします。

研究対象となった方は今後もこの研究のために新たに治療や検査を受けることはなく、医療費がかかることはありません。また研究協力に対して謝礼が支払われることはありません。

8. 本研究に関する連絡先

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院医学系研究科 病因病理学専攻 分子病理学分野

宮園 浩平（研究責任者）、江幡 正悟（担当者）

TEL:03-5841-3356 内線:23356 FAX: 03-5841-3354

東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科

國土 典宏（科長）、青木 琢（担当者）

TEL:03-3815-5411 内線:37142 FAX: 03-5684-3989